

大鹿スケッチ

— 第39号 —
2014年 01月
〈 発信者 〉
前志満 くみ
〈 提供 〉
旅舎 右馬允

この冬、湯たんばの代わりに猫のコティナを導入しました。半分野良、半分飼いの猫のコティナは、風を切って走ってきます。抱くと風の匂いがします。庭の鶏は、首を地面と平行にして、足早に駆けていきます。この走り方を試してみましたが、なかなか具合がいいのです。風になったような気分が味わえ、そして風が含んでいる情報に敏感になります。風は、山の水と植物たち、そして陽ざしの情報をくれます。氷の匂いが強よかつた一二月より、匂いの終わりで力強い太陽の匂いがします。枯れ葉の乾いた香りの奥にどこか息吹を感じる事ができ、春だなと感じる瞬間。

昨年(2013)の十月末に「SAYAMA見えないお正月に監督の金聖雄さんがいらして手鏡をはずすまで」の試写会について参りくださいました。映画を観てからぼんやりと「SAYAMA」をみる機会を地元五十年間も着せられ続けている石川一雄さんも作れたらいいなと思っていました。三年前に「SAYAMA」をみる機会を地元で自分でも作れたらいいなと思っていました。お正月に監督の金聖雄さんがいらして手鏡をはずすまで」の試写会について参りくださいました。映画を観てからぼんやりと「SAYAMA」をみる機会を地元五十年間も着せられ続けている石川一雄さんも作れたらいいなと思っていました。三年前に「SAYAMA」をみる機会を地元で自分でも作れたらいいなと思っていました。



出来れば至みの少ない素直なクリアな世界で暮らす方が気持ちいいにきまっています。各地で映画「SAYAMA」みえない手鏡をはずすまで」が上映されています。HPも立ちあがっており、上映情報もアップされています。チェックしてみてください。思い出もよらぬところでエネルギーを吸い取られるような事が起こるのには人生につきものなのではないでしょうか。石川さんの五〇年はどうだったのだろうか。リニア問題かと思えます。リニア問題についても友人同士で「こんな事にエネルギーを使いたくないよね」と度々話します。それにしても「えきれないに雪かきをします。休息と調整・強化の分量をだんだんと季節に応じて組み替えていきます。」

AMM」の上映は約束されました。石川さんが五〇年以上「自分は無実だ」といっている事は間違っているという事は間違っているとおもわずにしっかりと見聞きし、表現していくことが重要だと感じます。それが「現実」を作っていくことすなわち私たちが暮らす世界を作っていくことになるのではないのでしょうか。

大鹿 HeatBeat
～大鹿の人々～ 第35回
紙谷 正 さん (87)

季節ごとの風景と共に大鹿人の生活を紹介します。淡々とした日々の中に、鼓熱く響く「鼓動」をお届けします。



紙谷さんの敷地の南向きの斜面では福寿草が咲いています。スイセンの目も日に伸びています。桑畑の脇には剪定された桑の枝が積み重なっています。きれいに整えられた枝は今後の、野菜を育てる時の「てっぺん」になります。季節の変わり目は雪が多く、雪かきはなかなか大変です。背筋、腹筋を強化するいい機会です。紙谷さんは敷地ばかりではなく地区の共同の道も冬はある意味「異次元」です。幽霊以上の不思議な世界が広がっています。おもしろくはありません。実証すべくうらうらと白い野山を散策する今年の冬でした。

冬のお化けの話

知人に霊感が強い人が何人かいます。この季節は「冬場はなぜ霊が見えないのか」というテーマで持ちきりになります。松川インターから大鹿までの小渋線や大西山の麓はその筋の人たちの間では有名な浮遊霊スポット。小渋ダムから落ち武者が駆けあがってきたり、モンペをはいた女性が歩いている姿などみられるそうです。話を聞いたころの印象では小渋ダム沿いは主に南北朝時代に命を落としたり人たちのイメージで大河原のR一五二沿いはS三六年の災害で命を落とした方々のようです。彼らはどういうわけか冬場は姿を見せないそうで、なぜなのでしょう。いろいろな考察が移りますが個人的には有力です。冬に感じる空気の印象をイメージしてみてもいいかもしれません。冬に感じる空気の印象をイメージしてみてもいいかもしれません。

おおよそ三月中旬頃まで(季節の推移に応じて)大鹿ネイティブが村内のアルプス絶景スポットをご案内いたします。スノーシューを履けばびざ丈ほどある雪の中でもスムーズに歩くことができます。初めてのの方も、歩き方のコツをつかめばスイスイ!安心してご参加ください。フィールドサインや野鳥の鳴き声に耳をすましながらウイングトレッキングを楽しみましょう!ガイド料お一人三五〇〇円(別途)最小参加人数は二名。持ち物参考:防水登山靴またはスノーブーツ、リュックサック、防水防湿素材ジャケット&パンツ、手袋、ニット帽、サングラス、厚手の靴下、保温ボトル、防寒着(ダウンジャケットなど)行動食、トレッキングポール、スノーシュー、山岳保険または旅行保険(各自で加入)お気軽にお問い合わせください。

ウィンタートレッキングの予約を受け付けています!

○二六五(三九)二〇三七